

北鎌沢出合－独標手前

8月17日－21日

今回の山行は槍ヶ岳の北鎌尾根を登るコースです、昔は高瀬ダムより水川経由北鎌沢出合に行くコースでしたが、現在は槍沢－水俣乗越または、大天井ヒュッテに宿泊し貧乏沢で、北鎌沢出合に行くのが通常のコースですが今回はあえて、昔のコースでの挑戦ですその為3泊4日の日程にした、初日は、信濃大町駅より高瀬ダムまではタクシーで約50分です、自家用車の場合は、七倉山荘まで行き、そこからは、タクシーに乗り換えが必要です、初日は高瀬ダムより湯俣温泉晴嵐荘までの約3時間のコースで、最初は林道を約1時間で、その後登山道高瀬川沿いで高低差はあまり無い、途中数か所崩落箇所があり牧道がある、又晴嵐荘前の橋は流されていて、渡渉が必要になる、今回は河川の整備中で、石が並べてあり、石伝いに渡渉できた、翌日は水俣川を上るコースの為沢口に交換し何回渡渉するコースです、地元の方の話では、水量は少ないと聞いていましたが、雪解け水でかなり冷たい沢の渡渉を始めたが、渡渉場所では、腰までの深さの場所もあり流れが速いので渡渉に苦労した、途中一部は岩肌にあるロープ伝いに通過する場所もあり注意が必要千天出合まで計画では4時間でしたが、6時間掛かり到着した、ここからは天井沢を北鎌沢出合に向かう、ここからも沢の水量が多いのと、途中堤が数か所あり、トラバースを探すのに時間が掛かった、上流に行くと水量が少ないなるので、水の中を歩く事が多くななた、予定より約3時間遅れで、北鎌沢出合に到着、数組のテントがあり、平な場所を見つけテントを設営した、河原で焚火を焚いて、濡れた物を乾かし、沢の水で、持ってきたアルコールで乾杯した、翌日は2時半に起床し、4時に槍ヶ岳に向け出発した、北鎌沢右沢を、北鎌のコルに向かう、途中二又で水の補給を行った為、荷物がさらに重く感じるこの沢は大きな石の急登為、登るのが大変、コルまで登るのに4時間かかった、ここが北鎌尾のスタート地点です、ここから次の目標独標に向けて、細い岩尾根を登っていった、この日は晴天で、風も無く暑さに苦しんだ、天狗の腰掛を超え独標手前のコルで大休憩をとり独標のトラバースへのルートが見つからなく、探した、時間が掛かった独標のトラバースまで進むが、暑さの為体調不良で、ここ近くでビバークする事にし、大休憩したコルの戻りビバークをした、本来は今日中に槍ヶ岳へ行く計画でしたが、1日延びる為水の分量を確認した、明日の行動に各自1リトル文を確保し残り今夜と明日朝の食事を行う様にした、翌日は独標核心部の痛快の為、朝5時に出発した、本日が北鎌尾尾根の核心部の通過です、最初に独標をトラバースルートよりその先に有名な{コの字通過}があり上側の岩がせり出したいるので、通過時にザックが引っ掛からに様にかがむ必要がある、その先はトラバースコースと直登コースに分かれ、直登コースが安全との情報から、山頂に向かった岩場を直登した、足掛かり等があるので、注意すれば特に危険は無い、独標山頂に登ると、そこからは、槍ヶ岳を見る事が出来る 独標はP10でここからP15までの間はコース選択が非常に難しい、尾根コース、トラバースが混在し、どちらのコースを選択するかにより、難易度が大きく変わる、P14のトラバースでルートが不明になり、右側に回りこみ踏み後を見つけたが、足掛かり等が少ない為、ザイルを使用した、頂上について左側を見ると、ザイルを使用しなくても登れるルートがあった、P15は標高差を考えでトラバースルートを使用し、その後北鎌平に向け、岩場を登る、北鎌平は槍ヶ岳の直下の広場でテントが張れるコルがある、ここで西鎌尾根を眺めながらの大休憩を行った、その後槍ヶ岳山頂を目指して、大岩のルートに登って行く、最後にチムニーがありここは、ザイルなしでは無理なので、ここでもザイルを使用した、チムニーを登ると直ぐ上が槍ヶ岳山頂で祠に裏側から山頂に到着した、山頂には数組の登山者がいた、平日の為混雑はしていな落雷がなりはじめた、山荘に到着し、水を購入し500mlを一気に飲み干し、その後

ビールで乾杯した、同時に夕立となり、激しい雨となったが山荘に到着後なので雨にぬれずにすんだ、この状況なので、私はテント泊をやめ、山荘泊に切り替えた、通常は予約が必要ですが、空いている為宿泊が出来た、他の3名はテント泊に、夕立は約1時間位で止んだので、その後テント場へ移動、小屋はコロナの影響で、マスク着用、寝る場所も本来は5名の場所を3名で使用する為間隔が空いて、ゆっくりと休む事が出来た、翌朝は5時出発の為、お弁当を予約し、小屋の喫茶スペースで朝食とした、弁当の内容は炊き込みご飯の握り飯2個とお茶のパックでしたが、ボリュームはあった、その後テント場へ行きテントの撤収を行い、5時に山荘まえから、槍沢を下山開始した、このコースは途中の沢があり水もあるコースなので、昨日の様な水の心配はない、約2時間で天狗原分岐に到着その後馬場平へ向かう、この日は登りの多くの登山者があった、やはり槍ヶ岳への通常コースである事を実感した、大曲で水俣乗越への別れですが、前は水が流れていたが今年は水は無かった、その次の沢では水が豊富あり、水の補給をおこない、ババ平へ数組の天泊に人がいた、そこから槍沢ロッジへ行き、テント泊に人たちが朝食を取っていない為ロッジに入ったが軽食は10時からの為、ジュースとパンで朝食とした、ここから横尾山荘までまだ山道がつづくが整備された道で約1時間で横尾山荘にここまでくると多くの登山者が休憩を取っていた、次の目標は徳澤園で、ピッチを上げ到着、ここでソフトクリームを食べ、栄養補給を、後は明神館経由上高地バス停を目指す、帰りに温泉に入る事を計画し、上高地に近い小梨平にある温泉に入る事を考えていたが、コロナの影響で宿泊者以外の入浴はできないとの表示があり、あきらめ、タクシーで松本駅へ行き温泉を探す事にした、タクシーにのり温泉の相談をしたところ、新島島近くの日帰り温泉がおすすめでタクシーはその間待ってもらえるので、日帰り温泉 竜島温泉せせらぎの湯で一汗流し松本駅へ向かう、ちなみに上高地ー松本駅間タクシーは定額¥18,000です、松本駅4階の蕎麦屋で、生ビール、清酒(大雪溪)で乾杯をし、あずさで帰路に付いた。

高瀬ダムー湯俣

山行日 8月17(月) 天気: 晴れ

コース: 高瀬ダム 12:00ー林道終点 13:00ー名無避難小屋 13:30ー清嵐荘 15:40



タクシーで高瀬ダムに到着 ここで昼食を取り出発



途中の標識 槍ヶ岳の表記
現在は、このルートでの槍はあまり
使用されていない

東電の発電所



林道終点これより登山道に

名無避難小屋 曇もあるがカビくさい



避難小屋脇のベンチで休憩



奥に見えるのが清嵐壮 橋がないので渡渉と思われたが、河原の整備中で石伝いの渡る事が出来た



行先表示の前 槍の表記は無い



山荘のベンチでまずは乾杯



山荘のベンチでまずは乾杯



テント泊ですが、ベンチが空いていたので夕食も、ここで取った。

湯俣ー北鎌沢出合

山行日 8月18(火) 天気: 晴れ

コース: 湯股 6:00ー中東沢 7:40ー千天出合 12:05ー貧乏沢 16:30ー北鎌沢出合 17:00



晴嵐壮出発 沢靴にて



高瀬川の水門



奥が水俣川



吊り橋を渡り対岸に



吊り橋ですが痛みが酷い



沢に入り渡渉開始



ロープを頼りに移動



流れが速いので、岩につかまりの渡渉



浅瀬は川の中を移動



設置ロープを使い移動 越の深さ



今回の最難関の渡渉場所 設置ロープ伝いに行くのが正しいですが移動が無理なので渡渉しましたが、私はこの場所で流され その後対岸に移動



ロープを使用して渡渉開始



流れが速いのと深さの為渡渉は困難



その後無事に渡渉



正面に北鎌尾根が見える



千天出合に到着 ここで昼食
ここからは、天井沢にはいる
ここまで約6時間



40年前にもあった標識 行先に
槍ヶ岳



天井沢を北鎌沢出合に数量が少なくなかったので、水の中の移動が多くなる



貧乏沢に到着 北鎌沢出合はもうすぐ



北鎌沢出合に到着この場所にテントを設営した



沢歩きで濡れた物を乾かす為に焚火を

北鎌沢出合ー独標手前

山行日 8月19(水) 天気: 晴れ

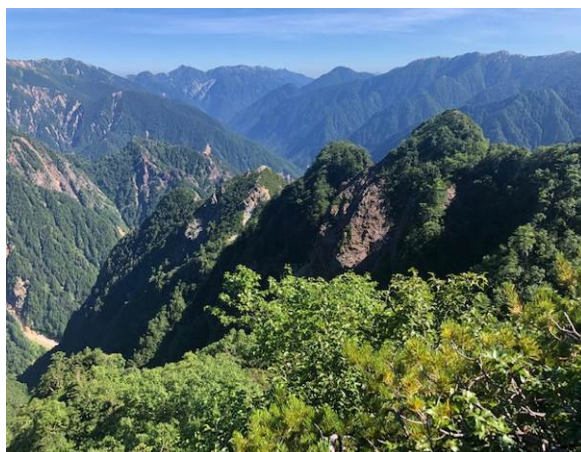
コース: 北鎌沢出合 4:00ー北鎌沢のコル 8:30ー天狗の腰掛 10:50ー独標手前 12:00



北鎌沢右俣、コルを目指して



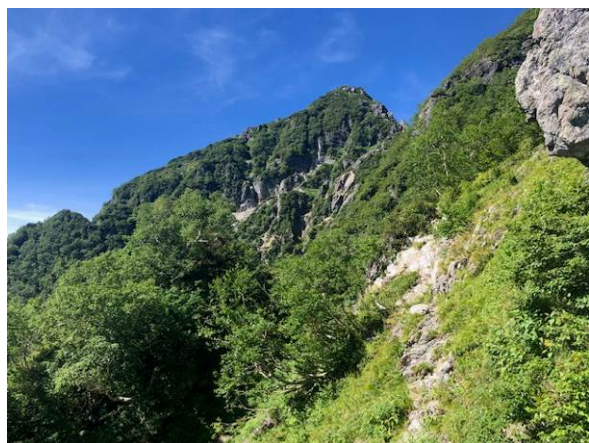
岩だらけの急登を登る



少し登ると北鎌尾根の下部 遠く
燕岳 後ろ立山も見える



北鎌沢のコルに到着



踏み後探しながら稜線を登る
木陰を探し休憩





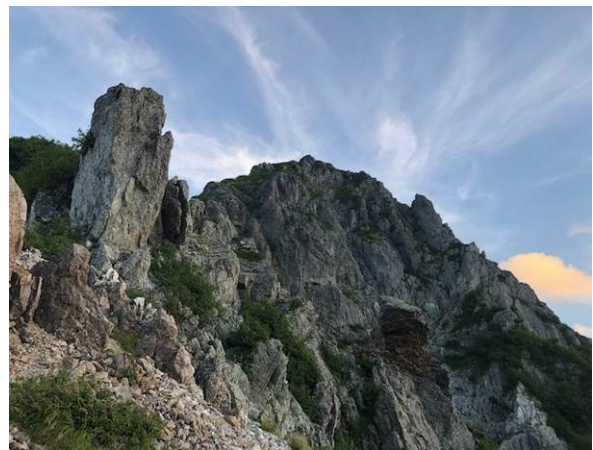
正面が天狗の腰掛



天狗の腰掛へのやせ尾根が続く



岩峰をトラバース



大迫力の独標 (P10)

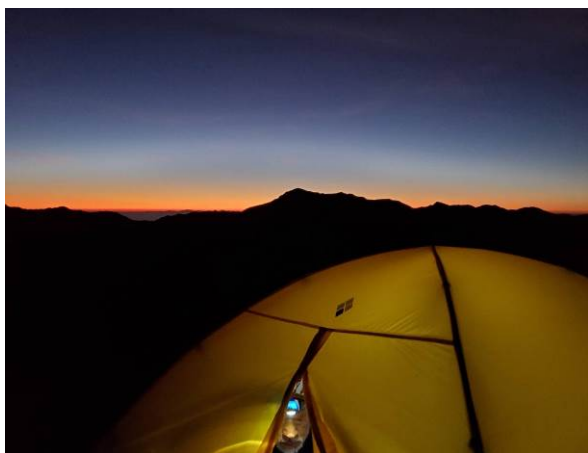


体調不良もあり独標手前のコルで
ビバーク この場所でルートファイン
に時を費やした、
踏み後が多数あり、コース選択に注意が
必要。

独標手前－槍ヶ岳

山行日 8月20(木) 天気：晴れ

コース：独標手前 5:00－独標 6:30－北鎌平 12:00－槍ヶ岳 14:20－槍ヶ岳山荘 15:10



日の出前の表銀座稜線



5時独標核心部へ出発



独標のトラバース



独標のトラバース有名はコの字の通過



ここの通過は少し下に小さなステージがあるので
ステージを使用すれば、安全に通過できる



コの字の通過



コの字通過後 独標を目指して岩場を直登



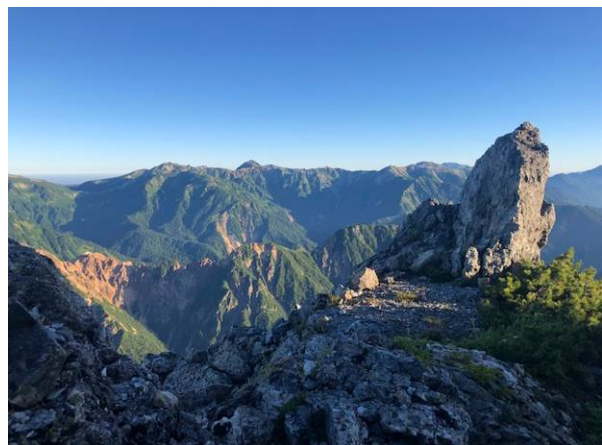
溝部に沿って登る



中間部のテラスで休憩



上ってきた北鎌尾根を見下ろす



裏銀座の峰々



独標山頂を目指して登る



独標山頂 初めて大槍が見える



槍ヶ岳を目指して岩峰を進む



槍ヶ岳が近づいてきた



P14 のトラバース



トラバース先でザイル使用



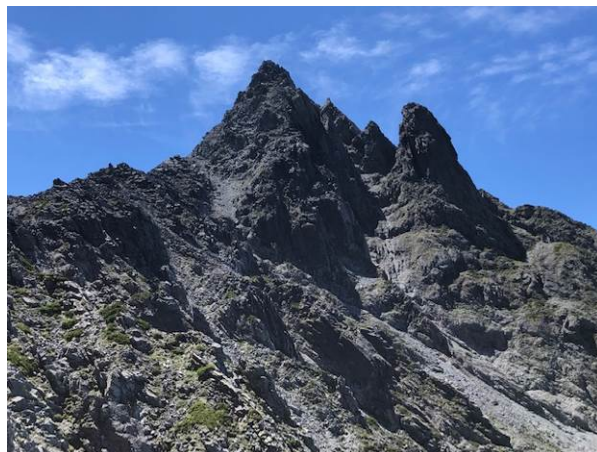
ザイル確保で登る
P14 で左側にトラバースルートがあった



日の照り付ける中をさらに登る



どこがルートか 探した



大槍 小槍 孫槍 ひ孫槍が見える



P15 のトラバース 標高差を考えで
稜線ルートでなくトラバースを使用



北鎌平に到着 約7時間掛かった



大岩を踏みながら 最後の登り



大槍の直下



最後のチムニー ここでも
ザイルを使用



チムニーでザイルを使用正面は独標

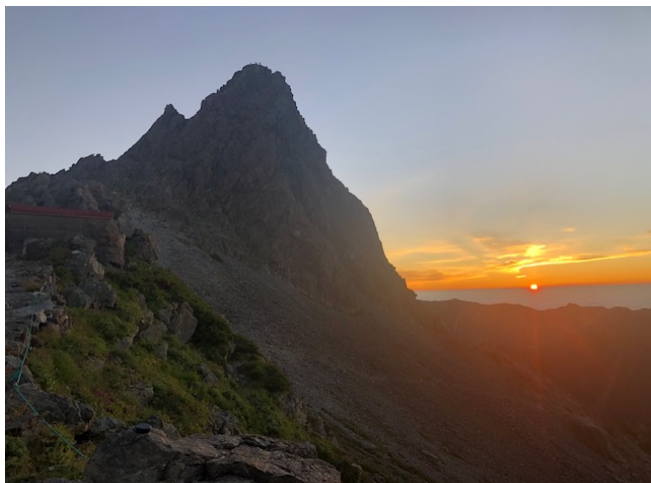


槍ヶ岳 山頂

槍ヶ岳ー上高地

山行日 8月21(金) 天気: 晴れ

コース: 槍ヶ山荘 5:00ー天狗原分岐 6:50ー大曲 7:35ー槍沢ロッジ 8:50ー横尾山荘 10:10ー徳澤園 11:10ー明神館 12:15ー河童橋 13:00ー上高地バスターミナル 13:07



日の出の槍ヶ岳



5時槍ヶ岳山荘出発



朝日に輝く槍ヶ岳



沢の水のなんとおいしい事
昨日の脱水状態がなかなか、回復しない



幻想的な霧状の槍沢



槍見河原からの槍ヶ岳



無事に河童橋に到着 4泊5日の登山も終了